

電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート 2008年5月・第6号

IEE J プロフェッショナル・ニュース

ニュース1. IEEJプロフェッショナル第1回懇談会(メモ)

1. 開催日時:平成20年4月25日(金)14時30分~17時

2. 場所 : 電気学会会議室

3. 出席者 : 20 名

4. 議事

4. 1 I E E J プロフェッショナル事業の目的

電気学会は、職業紹介はしない。メーリングリストでIEEJプロフェッショナル同士の情報提供を行う。電気学会の収入増に寄与する事業である。当初のアンケートでは 90%の人がIEEJプロフェッショナルに関心ありとの回答を得ている。

4. 2 I E E J プロフェッショナル事業の概要

パートナー企業が企業に対するコンサルタント等も紹介する。大学・研究機関、企業からのIEEJ プロフェッショナル紹介希望については、前者は学会誌・求人欄で、後者は学会誌広告で提示して貰う。

4. 3懇談会の主旨、目的など

IEEJプロフェッショナル同士の情報交換、支援体制の話し合いの場である。電気学会教育支援部会とは、教育支援部会が決めた基本方針をIEEJプロフェッショナルが支援・実行する。懇談会の開催開催日、時間は定例的に下記にて実施する。

奇数月は 毎月 第3水曜日 15時~17時偶数月は 毎月 第3火曜日 15時~17時

場所は電気学会会議室を基本にするが、パートナー企業や東京都立産業技術研究センタ

一などでの開催も考えたい。参加費を徴収し、懇談会の運営費とする。

世話役を下記とした。

懇談会主査 正:小山 徹氏 副:深川裕正氏 武蔵村山教育支援主査 正:右高正俊氏 副:武子雅一氏 東京都立産業技術研究センター 正:三井久安氏 副:木村光夫氏

4. 4武蔵村山市理科教育支援について

平成 19 年度支援実績の報告があった。支援者の負担が大きすぎるとの意見がある。(特に複数の学級を支援する第五中学校)

- (1) 生徒に理解させるに必要な時間が十分でない。
- (2) 教育委員会、学校側の本音の意見を聞きたい。
- (3) 理科担当教諭の理科に対する不安を除くように先生の知識向上支援も必要である。
- (4) 第五中学校では、学校側が気遣ってイベントによる時間変更を避けてくれた。



- (5) 第五中学校の先生から、先生の啓発になるテーマの支援を依頼された。
- (6) 自由実験で作成・配布した教育資料を支援者全員が再利用出来るように考えて欲しい。
- (7) 支援が本当に評価されているか心配であったが、結果は良好と思う。
- 4. 5メーリングリストと名簿公開

電気学会サーバーにIEEJプロフェッショナルメールリストが作成され、必要な情報を、IEEJプロフェッショナルに伝えることが出来るようになった。

名簿を作成するので、自己紹介メールをメーリングリストによって発信して欲しい。

4. 6 I E E J プロフェッショナルの勧誘

IEEJプロフェッショナルは、現在 109 名が認定・登録されている。増員に協力して欲しい。活動分野開拓の情報も提供願いたい。

4. 7その他

武蔵村山市キャリアー教育の報告と進め方が提案された。5月23日電気学会通常総会でIEEJプロフェッショナル制度検討WGが第11回優秀技術活動賞(特別賞)を受賞することになった。

ニュース 2. IEEJプロフェッショナル第2回懇談会(メモ)

1. 開催日時: 平成 20 年 5 月 21 日 (金) 14 時 30 分~17 時 50 分

2. 場所 : 東京電機大学会議室

3. 出席者 : 20名

4. 議事

- 4. 1武蔵村山市中学校理科教育支援(武子)
- (1)5月14日武蔵村山市教育委員会にて平成20年度支援について会議が行われた。
- (2) 今年度も予算化され、継続となる。対象は2校、8クラスである。
- (3) キャリアー教育は是非実施して欲しいと依頼された。
- (4) IEE Jプロフェッショナルが行う自主実験は、昨年とテーマを替え、個人単位の実験を依頼された。
- (5)支援 I E E J プロフェッショナルと学校側が、お互いに負担にならないように進める。学校側からは理科実験の準備支援もお願いされた。

事務局からのお知らせ

IEEJプロフェッショナルに役に立つセミナー情報や大学・学校・教育委員会などでIE EJプロフェッショナルの人たちが活躍できるお話がありましたらお知らせ下さい。

連絡先:社団法人電気学会 総務課:紀国屋 隆

E-mail: kinokuniya@jee.or.jp 電話:03-3221-7312